

令和元年度 学校関係者評価書（川南町立東小学校）

(5段階評定 5:大変よい 4:よい 3:ふつう 2:少しよくない 1:よくない)

項目	評価指標及び具体的目標	自己評価	結果の考察・分析及び改善策等	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
Ⅰ 町民総ぐるみによる教育の推進	1 学校や家庭、地域が一体となって取り組む教育を推進する。 ・地域の活性化や学校及び家庭の教育力向上につながるコミュニティ・スクールの実施 ・保護者や地域を巻き込んだあいさつ運動の活性化	4. 7	○ 学校運営協議会や学校だより、ホームページ、地区回覧板等を活用した説明や実際の取組の紹介をすることによりコミュニティ・スクールの推進を継続している。 ○ 学校や家庭のみならず、地域の方からも子供たちは育てられているかという質問に対する保護者の肯定的回答は90%であった。どの学年も高い割合である。さらにキャリア教育を推進する。 ● 地域や家庭で児童があいさつを実践しているかという質問に対する肯定的回答は78%であった。今後さらにあいさつの実践率を高めていく必要がある。	4. 7	○ 地域と学校、創意工夫され向上に努力され、成果も出ていると思う。 ○ コミュニティ・スクールの推進として、様々な媒体を活用して、外への発信を行っていると思う。参観授業及び懇談会への出席率が極めて高いことに驚く。 ○ ホームページが176千回以上チェックされているが見やすく解りやすい工夫がされていて素晴らしい。家庭教育学級の取組、企画が素晴らしい。地域の方に育てられていると言う保護者が90%もあることは素晴らしい。 ○ PTAはじめ、地域、自治公民館との連携に積極的に取り組まれていると思います。 ○ 学校への協力体制は良いように感じている。地域の人への声掛けで一層協力しやすくなるのでは……。インターネットを利用していない家庭もあるのでは。 ○ 参観日出席率が高く、保護者や地域の学校への関心の高さを感じます。 ○ 授業参観や懇談会出席率も良く、いろいろな手段で発信していることが良いと思う。 ○ 毎月の学校だよりで児童の様子について詳しく紹介されていて学校の様子がよくわかります。 ○ HPの写真UP等、積極的に取り組んでいる。学校から地域へ連絡も密に行っている。もっと地域役員が関わるようにすれば更に良い学校となると思われます。 ○ 伝統的にも感じるが、授業参観や学級懇談会への出席が極めて高い小学校だと思います。家庭での早寝・早起きがうまくできているようですね。 ● 親同士の交流を増やす。(特におやじの会)
	2 家庭や地域の教育力の向上に努める。 ・学級懇談会への出席率各学級80%以上と内容の充実 ・早寝をする児童の割合85%以上 ・家庭教育学級の活用による、家庭教育力や家庭学習の向上		○ 学級懇談会への全学年平均出席率は88%(前年度は85%)であった。学級懇談会の話題として、「早寝・早起き・朝ご飯」「親子のコミュニケーション」「家庭学習」「読書の勧め」「スマホリーフレット」「夏休みのくらし」「地区行事への参加」等さまざまな内容で実施することにより、家庭教育力の向上につながった。 ○ 授業中眠くなることはほとんどないと答えた児童は93%であった。早寝については多くの児童については問題がないと言える。 ○ 家庭の教育力向上につながる家庭教育学級の内容としては、「特別支援教育」「子どもの誉め方・叱り方」「英会話」に取り組んだ。		
	3 開かれた学校づくりを推進する。 ・年間7回の参観日の実施、充実 ・11月のオープンスクールの実施、積極的公開 ・学校教育の理解につながる学校便りとホームページの運用		○ 教科や内容のバランスの取れた(国語、算数、学活、外国語、家庭科、理科、総合)計画どおりの参観日の実施をしている。授業参観出席率は98%(前年度は92%)と非常に高い割合であった。 ○ 地域へも、回覧板を利用して11月のオープンスクールを周知することにより公開した。学校運営協議会、学校保健委員会、PTAバザー等の内容での開催である。 ○ 毎月の学校だより、適時のホームページやメディア等を活用した学校教育の紹介の継続により開かれた学校づくりを継続している。読んでいただいているようで、感想をお聞きすることもある。今後も、学校教育の方針や様子、児童の活躍、家庭や地域との連携の重要性等が伝わる発信に努めたい。		
Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進	1 確かな学力を育む教育を推進する。 ア 学ぶ意欲の向上 ・学校生活アンケートにおいて、「学校で一生懸命勉強している」と答える児童の割合90%の維持 ・授業中手遊びがなく、学習活動に熱心に取り組む児童の姿90%の実現 イ 基礎的学力の定着 ・主要教科の単元テスト平均85%の得点率 ・年度末のCRTテスト、次年度の全国及び県学力テストの全国及び県平均以上の得点率 ウ 読書の習慣化 ・年間貸出冊数13,000冊程度と読書内容の向上	4. 3	○ 児童アンケートで、「学校で一生懸命勉強している」と答えた児童の割合は99%、「授業に集中して取り組んでいる」と答えた児童の割合は98%であった。ほとんどの児童が学ぶ意欲をもって授業に臨んでいると考えられる。 ○ 主要教科の単元テストの2学期の結果の学年平均は以下のとおりである。 1年国語(90点)算数(93点)2年国語(98点)算数(81点)、3年国語(87点)算数(85点)理科(83点)社会(92点)、4年国語(76点)算数(70点)理科(93点)社会(89点)、5年国語(86点)算数(73点)社会(84点)、6年国語(77点)算数(74点)理科(87点)社会(85点) 理解できていない部分の指導を再度行ったり、授業終末に定着を図る時間をさらに確実に設定したりすることにより、当該学年の学習内容をしっかり身に付けさせて進級させたいと考えている。 ○ 保護者や地域の皆様による、月1回の読み聞かせ活動は大変充実している。心を豊かにする本に出合う貴重な機会を熱心につけていただいている。 ○ 2学期の全児童の貸出冊数は8986冊であった。2学期後半は、昨年度とほぼ変わらない貸出冊数であった。図書館祭りやファミリー読書などの手立てが功を奏したと考えられる。また、3学期も目標に「進んで読書」とする児童が多くみられ、読書に対するさらなる意欲が感じられる。今後も、図書館へ行く機会を増やしたり、行きたくなる図書館運営をしたりすることにより、読書意欲をさらに高め続ける。	4. 6	○ 成果が出ていると思います。 ○ 学校教育だけでなく、保護者、地域の方々による読み聞かせ活動は子どもたちの勉強に対する楽しさを向上させる要因と考える。 ○ 学校で一生懸命勉強している、学校が楽しいとの児童が9割以上は素晴らしい。 ○ 保護者との連携を図り、家庭学習の定着を図られており、学校教育に限らず、家庭保護者と一緒に取り組まれていることは評価できると思います。 ○ 意欲的に学習している様子が伺えます。 ○ 児童自身が意欲的な様子が伺える。 ○ 読書に対する取り組みが良く、図書室の配置等工夫されている。 ○ 細かいことまで取り組んでいることは評価できる。 ○ 児童の学業に取り組む姿が単元テスト結果に表れていると思います。 ◎ 月1回の読み聞かせは1～6年生でしようか→はい ● 本を読みたくなる環境をつくってやる。

2	<p>豊かな心を育む教育を推進する。 ア 思いやりのある児童の育成 ・学校生活アンケートにおいて「友だちに優しくしている」と答える児童の割合90%以上 イ あいさつの活性化 ・学校生活アンケートにおいて「元気なあいさつを進んでいる」と答える児童の割合90%以上 ウ 楽しい学校生活の保障 ・学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える児童の割合90%以上 ・いじめゼロの実現</p>	4. 5	4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が楽しい場所になっているようです。 ○ 道徳の教科をうまく活用しているように思います。 ○ いじめに関してアンケートなどで細かな対応をされていて素晴らしい。 ○ 家・地域であいさつする児童が9割以上も、すごいことです。 ○ 学校が楽しい児童が多いのも素晴らしい。 ○ あいさつ運動や児童アンケートの実施で積極的に改善を行い、児童との関係を近くとられているようです。良い結果が表れていると思います。 ○ 学校での指導、地域の人々からの見守り等、豊かな心を育む様子が感じられます。 ○ いろいろなケースへの対応は難しいですが、これからも丁寧な対応をお願いします。 ○ あいさつもよくできていて素直な児童が多い。 ○ わがままをせずいつも人に優しくできるというのは子どもらしくないとも思えますが、相手の気持ちになれることは大切です。学校が楽しいと多くの児童が答えているのがよい。 ● 学校から遠くなると登下校する児童も少なく姿を見かけることがあまりないが、一人になるとあいさつするのが恥ずかしいようだ。見かけたらこちらからあいさつしたいと思う。 ● 地域の活動に参加させて交流をする。
3	<p>健やかな体を育む教育を推進する。 ア 基礎体力の向上 ・体力テストにおける本校の課題である柔軟性のTスコアが50以上となる学年が3/6 イ よい生活リズムの習慣化 ・学校生活アンケートにおいて「早寝」をしていると答える児童の割合85%以上 ウ 健康増進の意識の高揚 ・齲歯治療率80%以上</p>	3. 9	4. 3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストの結果、県平均を上回った児童が多いことは素晴らしい。 ○ 学級で眠くなることはない児童が9割以上、生活のリズムが整っていることもすごい。 ○ 生活のリズムが整っている児童が多いとの評価、素晴らしいことです。 ○ 歯の治療、児童のみならず、保護者への働きかけもあるのはすごいと思いました。 ○ 先生方の指導が素晴らしい。 ○ 体力テストの結果は、多くが県平均を上回っています。柔軟性について全体的に問題があるのでしょうか。 ● バランスのとれた体力向上が大切だと思います。 ● 全ての基礎となる体作りには、工夫や手立てをしてほしい。 ● 体力テストを一つの指標に、子どもたちの意識を高めさせる工夫が必要。遊びの中から体力向上につながる動きを求めてみては。 ● 朝食を食べる習慣を身に付けさせる。 ● 生活リズムを整えたり、むし歯治療は保護者の責任で行うもの。働きかけは必要だが、保護者の意識が一番だと思う。 ● 給食の好き嫌いをなくし、給食の残りを少なくするよう目指してください。
4	<p>共生社会を目指す特別支援教育を推進する。 ・全ての児童に人権感覚を身に着けさせること ・すべての児童に対する合理的配慮を行うこと</p>	4. 6	4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係団体機関との連携強化に努められているところは高く評価できる。 ○ 今後特別支援教育は避けて通れないようです。様々な工夫を行い取り組んでおられる。良いことです。 ○ 各機関との連携も密に取られ、児童の意識も高いと思います。 ○ 金鈴学園の関係もあると思いますので、特に気配りをされている項目かと思います。 ○ 支援を必要とする児童への心配り大変だと思います。継続してください。 ○ 多くの情報交換が必要だと思います。 ○ 保護者の働き方も多様化しているいろいろな家庭がある。外部機関との連携は今後も継続していく必要ありと考える。 ○ 親と子どもの回答の差がありますが、子どもたちの割合が高いことは評価したいと思います。 ○ 個別支援や外部との連携をこれからも続けてほしい。 ○ 人権を尊重する取組が感じられた。

目 自立した社会人・職業人を育てる教育の推進	1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育を推進する。 ・ふるさとを理解しふるさとに愛着をもつ児童の姿 ・総合的な学習の時間において、地域の方から指導していただく学習の各学年での実施（3年生以上）	3. 1	○ 保護者や地域の方からの指導の機会をどの学年も設定することが出来た。（1・2年・昔の遊び、3・4年・畜産業、加工業、5年田植え、稲刈り、ミシン、認知症サポーター養成講座、6年ミシン、ボクサー、3～6年川南町立図書館での調べ学習の勧め等）今後も積極的に実施する。 ● 「川南町や地域のことが好きだ」と答えた児童は85%、「我が子は川南町や地域のことをよく知っていて、川南町や地域に愛着や誇りをもっている」と答えた保護者は77%であった。川南町や地域を理解する学習の重要性を感じる。そのためには、計画性と教師の負担感のない実施の工夫が大切だと考える。 ● 今後は、さらにキャリア教育や郷土愛につながる視点での講師を積極的に招きたい。 ● 現在、地域連携担当者が学級担任ということもあり、校内での推進やとりまとめに必要な時間を確保することが困難な状況にある。できる限り、持続可能な方法を模索したい。 ● 保護者からの自由記述の意見欄に、児童が地域の方との関係をさらに多くもち地域の方々から育てていただくために、学校から地域へのさらに積極的な働きかけをすることによる場の設定を願う声があった。	4. 1	○ 地域の方などの指導を全学年に設定されたことは素晴らしい。 ○ PTA活動が活発であり、田植え、稲刈り、もちつきや地域の職業人の講話等積極的に実施されています。 ○ 地域の方々との密接な関係、地域への理解、愛着を感じます。 ○ 総合的な学習時間を使い、郷土の産業や体験学習を充実させ、子どもたちが直接感じ、理解できるシステムがうまくできている。 ○ コミュニティ・スクールとしての取組がさらに高まっていくでしょう。 ○ 地域人材の活用はよい取組だと思っている。同じ方のお話や指導を数年続けても良いのではないかと。 ○ 地域の有識者との勉強、遊び等大切だと思います。 ○ 先生方も一人一人に寄り添い、頼りにしています。 ● 川南に愛着をもってもらうためにも、教職員の負担軽減のためにも、保護者・住民の参加・協力が必要と思う。これからの課題。 ● たくさんの行事に参加させ、たくさんの体験をする。 ● 地域の方との関係を強化し、地域の方に育てていただきたいという期待に応えていただく努力を更にしていただきたいです。
	2 キャリア教育を推進する。 ・学ぶ意義を理解して勉強に取り組む児童の姿 ・総合的な学習の時間において、地域の方から指導していただく学習の各学年での実施（3年生以上）				
三 魅力ある教育を支える体制や環境の整備、充実	1 教職員の資質向上に努める。 ・服務規律違反ゼロ ・本年度特に取り組む、国語科、算数科、道徳科の授業力の向上	4. 5	○ 7月にコンプライアンス研修会を実施した。9月には、県教職員課から講師を招いて専門的な指導も受講した。今後も、服務規律違反ゼロとコンプライアンスの向上に努める。 ○ メンターチームによる初期研修を主軸とする校内研修の実施を、国語科、算数科、道徳科の授業を中心として計画的に行うことができた。授業の事前研究会、模擬授業、事後研究会における活発な意見交換は、全ての指導者の授業力向上につながったと言える。 ○ 現時点で、児童の事故や校内での大きなけが、アレルギー対応のミスはない。今後も、危機管理に努める。 ○ 毎月の安全点検を生かし、教育課へつなぐことにより、校内の危険箇所の事前発見や早期修理を徹底することが出来ている。	4. 5	○ 教職員の皆さんの努力に感謝します。 ○ 児童の学力向上をはじめ、たくさんの行事、生活面、心、身体面のサポートなど教職員の方々の日々は大変だと思います。そんな中で、研究会や研修を重ねられていることに感謝します。 ○ コンプライアンス研修の実施や危険箇所点検、安全点検の実施・改善・修繕を徹底的に行っておられるようで、環境整備も含め素晴らしいと思います。 ○ 教職員の資質向上を図るための努力がよく伺える。 ○ 先生方の資質向上への努力ありがとうございます。 ○ 学校内もきれいで好感がもてます。 ○ 学校における安全は確保されていると思います。 ○ 自転車でのヘルメット着用がほぼ定着していると思う。 ○ 十分な活動がなされていると思います。 ○ 事故ゼロを続けて行ってください。 ● 交通ルールの勉強を多めにするとよい。ルールを知らない子が案外多くいます。 ◎ メンターチームとはどんなものですか→いくつかの教科を決めて、その教科の指導力が向上するように、数名がチームを組んで研修を計画的に行うシステムです。
	2 学校における安全、安心の確保に努める。 ・児童の事故（交通、水難等）や校内での大きなけががゼロ ・アレルギー対応のミスゼロ				